

海運大手3社のコンテナ船事業統合について

- 平成28年10月31日、日本郵船、商船三井及び川崎汽船の海運大手3社が、関係当局の許認可等を前提として、新たに定期コンテナ船事業統合を目的とした合併会社を設立し、3社の定期コンテナ船事業を統合することを発表。



出資比率 38%

統合の日程

契約締結日：平成28年10月31日
合併会社設立日：平成29年7月1日(予定)
サービス開始日：平成30年4月1日(予定)

合併会社

出資額 約3,000億円

事業内容 定期コンテナ船事業(海外ターミナル事業を含む)

事業規模 約140万TEU 世界6位、グローバルシェア約7%に相当

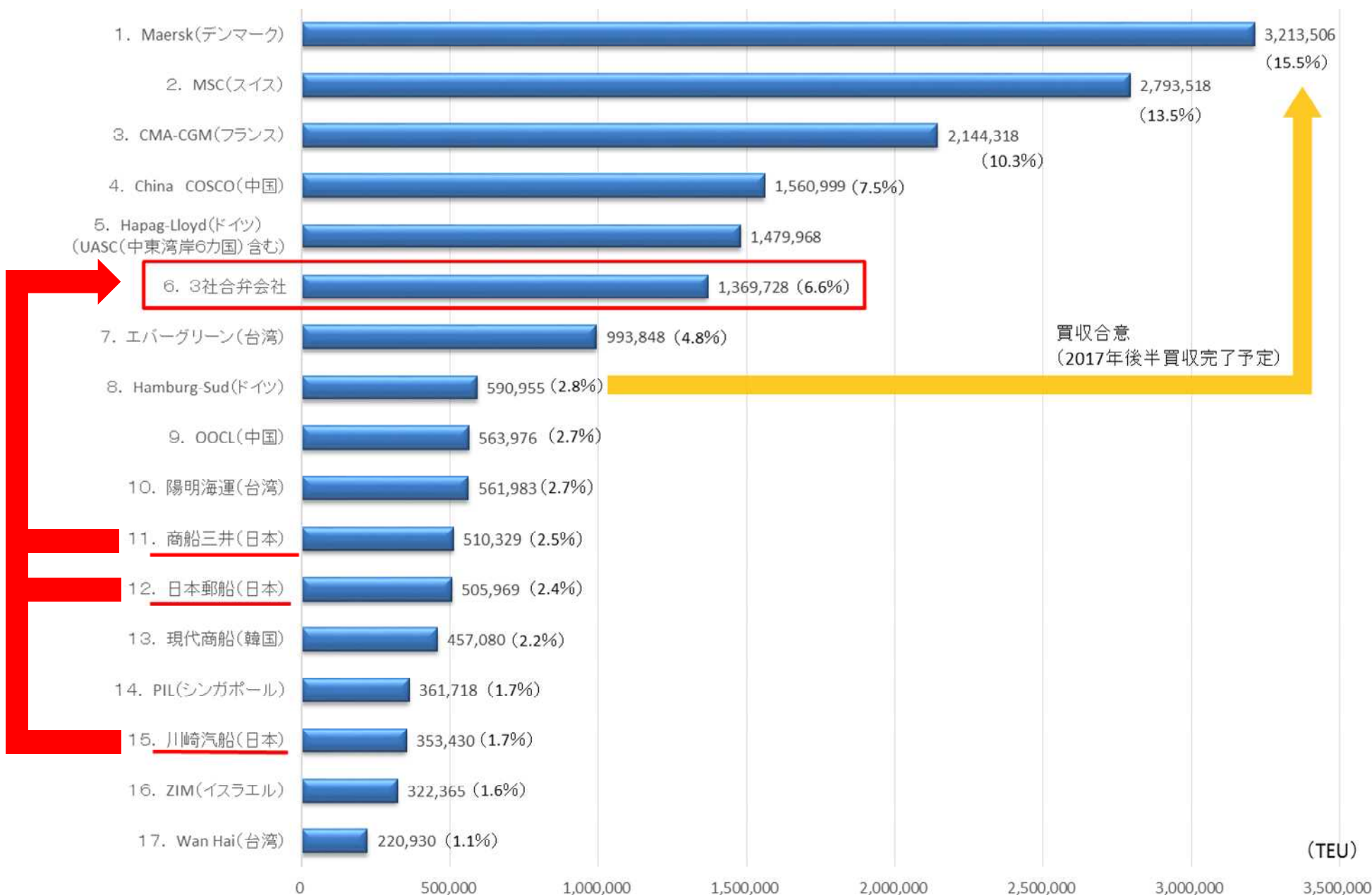


出資比率 31%



出資比率 31%

コンテナ船社運航船腹量ランキング



		日本郵船	商船三井	川崎汽船	合計
売上高 (億円)	コンテナ船事業	7,063	7,191	6,149	20,403
	不定期船事業	9,023	8,389	5,676	23,088
	合計(億円)	16,086	15,580	11,825	43,491
	コンテナ船事業の割合(%)	44%	46%	52%	47%
運航隻数	コンテナ船	97	82	61	240
	不定期専用船	313	365	330	1,008
運航船腹量	コンテナ船 (千TEU)	506	510	353	1,369
	不定期専用船 (千DWTン)	31,251	31,611	29,594	92,456

(注1) 売上高は2016年3月期。航空事業、物流事業(日本郵船)、その他事業等(各社)は除く。

(注2) 運航隻数・運航船腹量は、コンテナ船が2016年10月31日現在、不定期専用船が2016年6月末日現在。

(注3) TEU・・・20フィート・コンテナ換算

(出典)各社発表資料、Alphaliner、海事局資料